

みくら就B ✨やる気まんまん春らんまん

寒い季節も過ぎ、ああ春らんまんと喜んだのもつかの間、もはや初夏の気配です。みくら就Bでは、今こんな作業をしています。

名前シール＝貼り付けシールに名札用のカードを差し込む作業

カレンダー＝包装用の袋にカレンダーを入れて値札シールを貼る作業

靴ひも＝スニーカーの靴ひもをひと組みずつ折りたたんで包装用袋に入れる作業

箱折り＝お菓子を入れる化粧箱を折り目に沿って組み立てる作業

割りばし＝竹製の割りばし（竹天削箸）を箸袋に差し込む作業

特に最近始めた割りばしの作業は皆さんができる作業なので自分もやりたいと志願する人もいて、やる気まんまんの様子です。

住吉ⅠⅡ おなかもココロも満福万福！

住吉事業所では、4月4日にお花見に行きました。行先は住吉公園です。

今年は桜の咲く時期がいつもより早かったため、行った時には、残念ながら花が散りはじめていました。しかし、若葉が萌え出て、緑色に映えるさくら花もすてきでした。

その後に食事会をしました。エビフライ、ハンバーグ…と、思い思いの食事を楽しみました。

第1出張所と第2出張所。いつもは2か所に分かれて仕事をしている利用者間の交流の場になりました。帰る頃には、おなかもココロも“満福”でした。



みくら生活介護は 篆書(てんしょ)に挑戦

みくら生活介護では、今年の年始に書初めに挑戦しました。普通の文字ではなく、篆書体（てんしょたい）で自分の名前を筆で書くというものです。

漢字の字体にはいろいろあります。この記事で使っている字体（フォント）は明朝体（みんちょうたい）です。篆書体はハンコの実印の文字に使われることがあるのでご存知の方も多いことでしょう。

支援員が書いた見本を参考にして利用者の皆さんには独自のセンスで挑戦してもらいました。支援員は手も声掛けも控えました。皆さんはすごい集中力で取組まれ、その表情は支援員にとってもうれしい発見でした。

その時書いた作品で、松下恵子さんが兵庫県障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」で「公益財団法人神戸新聞厚生事業団理事長賞」を受賞されました。

つついのみや♪浪花節だよ人生は♪

つついのみやの利用者は、ボランティア活動として隔月に近隣の高齢者施設を訪れ入所者の皆さんの前で、日ごろ練習した歌をうたっています。

今月は「しあわせなら手を叩こう」「浪花節だよ人生は」「春が来た」「ふるさと」をうたいました。

入所者の方々から喜んでいただき拍手をいただくと、初めは下を向いて歌っていた人も、最近では前を向いて大きな声で歌っておられます。

4月21日（土）には、しあわせの村であった「第29回ふれあいコンサート」に出演しました。大きな会場で精いっぱい歌ってきました。

編集後記

神戸育成会の各事業所ごとのエピソードを皆さんに紹介するために、ささやかな通信を今月から隔月でお届けすることになりました。内容についてのお問い合わせ、ご意見等ございましたら、お寄せください。（松宮）